

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	浄水場更新事業		担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	水道法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="20"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			21 年度
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で安心な水の安定的な供給		終期	未定 <input type="text" value=""/>
基本事業	3	災害対策等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市浄水場						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	浄水処理実験の結果を踏まえて、より詳細な比較検討を行い、浄水処理方式等の浄水場更新の基本的な方針を決定する。 また、北島町と浄水場の共同化についても検討を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		浄水場の更新	基本的 方針の 決定	準備会の設 立・共同化 の方針決定	協議会 の設立	基本 設計	実施設 計の発 注準備	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	業務委託により浄水処理実験を実施し、その結果をもとに浄水処理方式について検討を進めた。 水道事業の広域化について検討を行うため、水道事業体の職員で構成する「鳴門市・北島町水道事業広域化協議会設立準備会」を設立し、浄水場については浄水場更新を単独で行った場合と共同で行った場合との費用比較等の検討を行った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	浄水場更新業務実施数	3	4	2	2	2	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	浄水場の更新		—	準備会の設立・共同化の方針検討	—	—	—	
	目標達成率(実績/目標)				—	—	—	%
今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	946	946
		補正予算額	0	0	0	0	5,055	5,055
		繰越予算額	0	0	0	0	9,515	9,515
		全体予算額	0	0	0	0	15,516	15,516
		決算額	0	0	0	0	10,461	10,461
		繰越額	0	0	0	0	5,055	5,055
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.8	0.0	5,706	16,167			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	18,511	10,461	35,214	未定	未定
	うち一般財源	18,511	10,461	35,214		
	人件費	3,430	5,706	7,133		
	総事業費	21,941	16,167	42,347		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		準備会において、浄水場の共同化について、協議、検討を行った。
	効率性	A:効率的だった		検討を進めている浄水場共同化は、建設コストや維持管理に係る人件費などの削減効果が見込める。
②成果に対する評価	指標名	浄水場の更新		水道事業体の職員で構成する「鳴門市・北島町水道事業広域化協議会設立準備会」を設立し、浄水場の共同化について費用比較の検討を行うなど、協議を進めた。
	目標	準備会の設立・共同化の方針決定	0	
	実績	準備会の設立・共同化の方針検討	0	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		A		浄水場の共同化を進めることは、両水道事業体による協議等に期間を要するため、進捗に遅れが出ることが想定されるが、それ以上に本市にとって費用削減効果等のメリットが大きい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	共同浄水場の建設・運営に向けて、施設規模や費用負担割合、施設の保有形態、運転管理方法など詳細について、北島町と十分協議を行う必要があることから、期間を要することが見込まれ、今後は当初の予定より遅れることが想定される。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	浄水場の共同化について更なる協議を進めるため、水道事業管理者以下の水道事業体職員で構成する「鳴門市北島町浄水場共同化協議会」を設立し、共同浄水場の整備・運営に向けて、建設及び維持管理に必要な基本的事項を決定するため、基本設計等の業務を行う。			
	H30年度	「鳴門市北島町浄水場共同化協議会」において、基本設計に基づき、施設規模、費用負担などの基本的事項について協議を進める。			